

みずほCustomer Desk Report 2018/02/15号(As of 2018/02/14)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.86
TKY 9:00AM	107.77	1.2354	133.12	1.3885	0.7861
SYD-NY High	107.91	1.2465	133.38	1.4016	0.7934
SYD-NY Low	106.73	1.2275	131.61	1.3801	0.7774
NY 5:00 PM	107.01	1.2449	133.24	1.4000	0.7926
NY DOW	24,893.49	253.04	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	7,143.62	130.11	日本10年債	0.0600	0.00bp
S&P	2,698.63	35.69	米国2年債	2.1698	6.17bp
日経平均	21,154.17	▲ 90.51	米国5年債	2.6413	9.52bp
TOPIX	1,702.72	▲ 14.06	米国10年債	2.9122	8.01bp
シゴ日経先物	21,485	250.00	独10年債	0.7565	0.90bp
ロンドンFT	7,213.97	45.96	英10年債	1.6390	2.30bp
DAX	12,339.16	142.66	豪10年債	2.8230	▲3.45bp
ハンセン指数	30,515.60	676.07	USDJPY 1M Vol	9.70	0.29%
上海総合	3,199.16	14.20	USDJPY 3M Vol	9.36	0.11%
NY金	1,358.00	27.60	USDJPY 6M Vol	9.35	0.15%
WTI	60.60	1.41	USDJPY 1M 25RR	-1.98	Yen Call Over
CRB指数	192.39	2.55	EURJPY 3M Vol	10.18	▲0.04%
ドルインデックス	88.99	▲ 0.72	EURJPY 6M Vol	10.20	0.14%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月14日	8:50	日 GDP(前期比/前期比年率)・1次速報値	4Q 0.1%/0.5%	0.2%/1.0%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報値	4Q 0.6%/2.7%	0.6%/2.7%
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	1月 0.5%/2.1%	0.3%/1.9%
	22:30	米 CPI・コア(前月比/前年比)	1月 0.3%/1.8%	0.2%/1.7%
	22:30	米 小売売上高(前月比)	1月 -0.3%	0.2%
	22:30	米 小売売上高・除く自動車(前月比)	1月 0.0%	0.5%

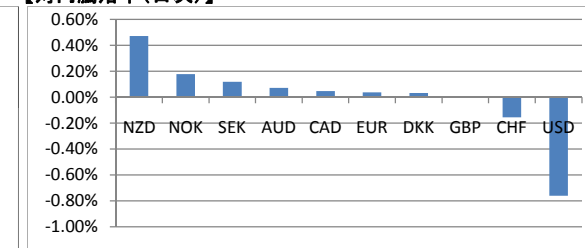
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月15日	9:30	豪 雇用者数変化	1月 15.0K	34.7K
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	1月 0.4%/2.4%	0.0%/2.6%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	-	228K
	22:30	米 ニューヨーク連銀製造業景況指数	1月 18.0	17.7
	22:30	米 フィラデルフィア連銀製造業指数	2月 21.6	22.2
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	1月 0.2%	0.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.00-107.00	1.2400-1.2500	132.50-133.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間は、発表された米消費者信頼感指数がヘッドライン・コアCPI共に市場予想を上回ったことで米金利が上昇、ドル円は107円半ばまで上昇も、米株が下落の流れに107円前半へ下押し。その後、米株は反転するも、ドル円は上値重い展開が続き、107.00近辺でクローズ。本日は、不安定な株式相場に引きずられ、ドル円は上値重い展開を予想する。

東京	東京時間オープン前に本邦10-12月期GDP(1次速報値)が発表され、前期比年率で+0.5%と市場予想同+0.9%を下回ったものの、マーケットの反応が限定的。かかる中、東京時間のドル円は107.77レベルでオープン。仲値にかけて一時高値107.91をつける場面が見られたものの、日経平均株価が軟調推移となる中で、ドル円は徐々に水準を切り下げる展開となった。その後、菅官房長官より「為替の推移を注視する」とのコメントが伝わるも、特段材料視されず一段と下げ幅を広げる流れが継続した。前日安値107.40を下抜けると、サポートラインとして意識されていた昨年安値である107.32もブレイクし、ストップオーダーを巻き込みつつ106.84まで下落。東京時間引けにかけて、日経平均株価が下げ幅を縮小する動きを横目にドル円は107円台を回復。結局、107.20近辺まで反発し107.22レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.22レベルでオープン。中国などを中心とした旧正月休暇を前にポジション調整と見られる動きにドル円はやや買戻し戻され、107.52まで上昇。一服後は、米1月CPIの発表を前に小緩み、107.24レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.2376レベルでオープン。オープン後はドル買戻しの流れから、1.2340まで低下。ユーロ圏12月鉱工業生産指数は、好調な耐久消費財と中間財生産を背景に、前月比0.4%の上昇(予想0.2%)となった。同時に発表されたユーロ圏第4四半期GDP改定値は前期比+0.6%と2017年通年で2.5%増となり、2007年以來の高い伸びとなったものの反応は限定的となり、1.2344レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3903レベルでオープン。ジョンソン英外相が英EU離脱について演説を実施するも、残留派に離脱賛成に転じるよう促すのみで、材料となる内容は乏しく失望感から1.3841まで下落し、1.3863レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY市場のドル円は107.24レベルでオープン。注目の米1月CPIがヘッドライン・コアCPI共に予想を上回る結果となったことから、米金利は急騰。一方、米株先物は米金利上昇や冴えない米1月小売売上高を嫌気して急落。為替市場では発表直後こそドル買いで反応し、ドル円はNY高値107.55まで上昇したが、その後は米株の急落を眺めながら107円ちょうどまで反落。しかし、米株が下げ一巡後に反発したことを受けて107.44まで回復。その後、ユーロをはじめとする主要通貨に対してドル売りが急速に進行し、ドル全面安となる中でドル円も海外時間安値106.84を下抜け、この日の安値となる106.73まで下落。株高を背景とするクロス円にサポートされドル円は下げ止まったものの、方向感はいくく107円挟みのレンジ推移に終始し、結局107.01レベルでクローズ。なお、この日米長期金利は2014年1月以來となる2.90%台を再現した。一方、1.2344レベルでNYオープンしたユーロドルは米1月CPIの結果を受け、この日の安値となる1.2275まで急落するも、ドル全面安の展開となるなかショートカバーも相俟って1.2380まで急伸。米株や原油価格が一段と上げ幅を拡大するなか、海外時間高値1.2392を上抜けると、2月5日以來となる1.2465までほぼ一本調子で上昇し1.2449レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:山下・田家